

第23回綿向山の日記念

ふれあい綿向山Day

11月10日(土)、ふれあい綿向山Dayが開催され、町内外から1,241人の登山者が参加されました。

午前中は雲がかかりあいにくの天気でしたが、お昼ごろからすっきりと晴れ、きれいな景色を眺めることができました。山頂では登山証明書の発行や展望と自然の説明会が、三合目のあざみ小舎では森のカフェテラスやこもればいコンサートが行われました。

このイベントは実行委員の皆さんが当日の運営や、事前に登山道の整備をされています。登山者は「よー整備されたるな」「家の庭みたいな道やな」ときれいに整備された登山道に驚いておられました。

くると幸せを呼ぶと言われるブナの珍変木



山頂の景色を楽しんでおられました



完成した絵は中学校に寄贈されるそうです



講師 DRAGON76 先生

昭和44年に東・西・北中学校の3校が統合され日野中学校となり、今年で50周年を迎えます。これを記念し、11月17日(土)、日野中学校で記念式典が行われました。

式典では、校歌斉唱や日野町長のあいさつなどの後、日野町村井出身の世界的に活躍されているアーティスト DRAGON76(ドラゴンななろく)さんを講師に迎え、記念講演「日野から世界へ Artの挑戦」が行われました。

DRAGON76さんは「夢を目標として持つて、その目標を達成するために明日から何が出来るだろうと考える」や「やりたい事を色んな人に言う。熱い思いを持つていけば、たくさんの方が協力してくれるし、言葉(ことば)となつてどんどん近づいていける」と自身が意識していることについてお話されました。

また、音楽を流しながら、30分で絵を描くライブペインティングを披露され、生徒や来場された方はその場で絵がどんどん描かれていく様子に引き込まれていました。

日野中学校

創立50周年記念式典

歴代の卒園記念写真が展示されていました



くす玉開きのセシモニーは園児たちが行ってくれました



必佐幼稚園

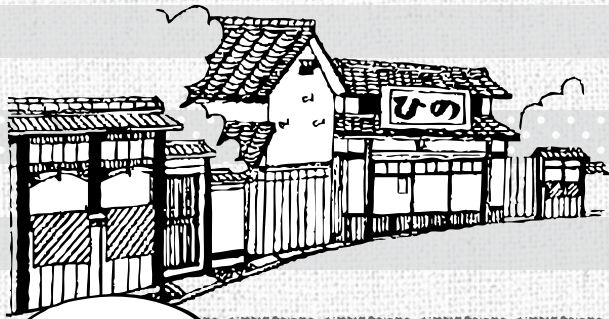
創立百周年記念式典

11月23日(祝)、必佐幼稚園で創立百周年記念式典が執り行われました。

式典では、大正7年度に開設された必佐幼稚園の現在に至るまでの歩み、園児による園歌発表、園長先生からの感謝のこぼれ、くす玉開きのセシモニーなどが行われました。

また、絵本作家の今関信子(いませのぶ)さんによる記念講演「絵本で子育て、心育て」がありました。

今関さんは「子どもが何回も読んでいる本は、子ども心に届いている本」「子どもにも共感して、一緒に感動することと信頼が生まれる」など、絵本のお話や自身の体験などを織り交ぜながら、子育てで大切なことについて話されました。



楽しい旬の話題をお知らせください

身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当
(役場1階・町長懇談室 ☎0748-52-6550)までお知らせください。
皆さんからの情報をお待ちしています!!

能楽を披露する
分林さん



最後に、皆さんと一緒に能楽を謡われまし

とを力強く語られました。また、近江商人の三方よしの精神など、仕事をする上で大切にされていることと思われたそう。

11月26日(月)、わたむぎホール虹でシルバー大学が開催され、分林保弘さんによる講演「能とわたし」が行われました。

株式会社日本M&Aセンターの代表取締役会長を務める分林さん。昭和19年、分林さんが生後6ヶ月の時に一家で日野町へ疎開。お父様が観世流能楽師で、3歳で能の舞台を踏まれました。大学時代「米国能楽公演」を企画・実施し、貨物船で30州を訪問し能楽公演を行われたそうです。

貨物船で星空を眺め「宇宙に比べたら人類は一瞬しか生きていない。くよくよしているヒマはない。悔いの無いように生きよう。やりたい事を全部しよう」と思われたそう。

シルバー大学 講演 分林保弘さん 「能とわたし」

淡海の子
の皆さん



そろいのジャージを着て試合に臨まれたそうです。次は岐阜の大会にも出よう」と意気込みを話されました。おめでとうございます。

今大会のビーチボール(女子)には全国から18チームが出場。日野町から滋賀県代表として「淡海の子」が初出場。決勝トーナメントCの部で見事優勝を飾り、11月30日(木)、町長を表敬訪問されました。

「淡海の子」は、週2回日野中学校の体育館などで練習されている「ひのなちゃん」と「ひのっこ」で結成した合同チーム。この大会に向け新調したお

ねりんぴつく富山2018 ビーチボール(女子)で 「淡海の子」優勝

11月3日(土)〜6(火)、第31回全国健康福祉祭とやま大会「ねりんぴつく富山2018」が富山市の県総合運動公園陸上競技場で行われ、全国から60歳以上の選手が集い熱戦を繰り広げました。

日野小学校

絵本作家 島岡由美子さん をお迎えしての「お話会」

11月9日(金)の「お話会」は、2年生の子どもがアフリカの民話紹介のポスターを作成し、全校向けや町立図書館に掲出したことがきっかけで開催されました。海外(アフリカのタンザニア)を本拠地に活躍されている絵本作家の島岡由美子さんが日野小学校に來校され、1・2年生の子ども達向けにアフリカでの生活の様子も交えて、絵本の読み聞かせをしてもらいました。

「お話会」では、アフリカの民話「しんぞうとひげ」「ゾウと火消しダチョウ」をアフリカの本を読むときの掛け声「パウカー」、本を聞かせるときの掛け声「パウ」と掛け声をかけ合い、児童も参加しながらの楽しいお話会となりました。

今回の「お話会」で紹介された本は、日野小学校の正面玄関に展示されています。また、図書館にもあるそうです。

「パウカー」(お話し始めるよ)、「パウ」(はい)

